



ヒサ先生へ

ヨウコです。(^o^)/ お元気ですか？ 私は元気です、といたいところですが、トラブルの連続、最悪です。(* > . <) アパートの水道、電気止められたんですよ...!! (> <) 忙しくて帰れないですよ～ . C= (- . -) 他にもたくさんあります。患者さんの方言が全然わからなくて困ったり、一緒にまわっている4人の同期とうまくはいつているけど、違うなあ～とか時々思ったりして... / (-) \ 今月は3ヶ月ごとの指導医からの評価があるし...最悪だろうな～、(;´ `) 言いたい事はいろいろあるんですけどネ... (- _ -) では、今日は暗くてゴメンナサイ。

このコーナーでは、カナダ・トロント大学へ臨床指導医研修を受けに留学中のDr.Hisaと新米研修医Dr.ヨウコとの交換E-mailをご紹介します。

ドクター Hisa

長崎医療センター・教育研修部に所属。

Dr. Hisa

He is a doctor from Japan currently studying Canadian primary care and medical education system. He enjoys having many kinds Beers and jogging when it's -20 outside.

> トラブルの連続、最悪です。水道、電気止められたんですよ...!!

止められたことを言い訳に、研修医室の住人になっているのだろうか～。僕の方も正直いって、トラブル続きでした。

最初のトラブルは、お約束どおりタクシーだった。トロント空港へ着いた夜、仕方なくタクシーに乗った。トルコ人運転手に「日本の長崎から来た」と言うと、いきなり彼は「アメリカは好きか？」と言い、「日本人の若い奴は歴史を知らない」と歴史の講義を始めた。それはまあいいとして、途中でタクシーメーターが無いことに気づき(なんで無いんだ!), 不安になり聞いたら、なんと80ドル(高い!)。僕は反撃に出た。「トルコライスを知っているか?」「知らない。何だそれは?」「長崎にはトルコライスという有名なおいしい食べ物がある... 70ドルまで下がった。「何しに来た?」「大学に勉強しにきた」「子供を2人連れてか?」「そうだ」「グレート!」60ドルまで下がった。しかし、その後こそが本当のトラブルだった。予約した格安ホテ

ルのドアは既に閉まっていて開かない。「オーマイゴット!」と僕が叫ぶと、運転手がニヤリとして「よくあることさ、enjoy your trouble!」と走り去った。彼が、Enjoy your トラブル、と言ったのか、トラブルと言ったのか...

タクシーで学んだことは3つあった。自分は日本人であるということ、そして何事も交渉次第、自分が主張しなければこの国では。銀行、不動産、電話など生活をセッティングする際や大学でもトラブルの連続。何度も遭遇するトラブルの度に僕たちは、3つ目の教訓を思い出す。「そうさ、ここは日本じゃないんだから、トラブルを楽しむしかないね!」トルコ人運転手に感謝!

> 方言が全然わからなくて困ったり

僕も同じ経験があるよ。ちなみにトロントでは160以上の言葉が使われているらしい!

言葉の問題はとっても大きい。マクドナルドで高校生のアルバイトの子に「チーズバーガーとコーヒー」と3回も言ったのに、その反応は「...???'」で、ショックでも頼めず店を出たことや、肉屋に行って「カレー肉5個」と言ったら、5キ口の牛肉を包まれて渡されたり。でも、身振りや表情でなんとか結構通じるこ

とも気づいた。これは、なにも僕たちESL(English as Second Language)の人に限ったことでなく、こちらでの研修医教育でも、「患者さんとの言葉のコミュニケーションは50%だから後の50%を大切にしなさい」と、目線の置き方や、患者さんへの触れ方、握手の仕方などまで研修医や学生に教えていた。

実際に英語が話せない患者さんはたくさんいて研修医はベッドサイドで身振り手振りでコミュニケーションしている。そういうカナダの研修医や学生は本当にフレンドリーでおしゃべり。「やあ、Dr. Hisa, 元気! 調子はどう?」と握手したり、ハグしたり、と。えっ? 朝も握手しなかったっけ?(写真:陽気なJasonとSuzy 次号紹介予定)。

> 4人の同期とうまくはいつているけど、違うなあ～とか思ったりして...

まあ、わかるね、その気持ち。でも、こちらは違うことが、良いことみたいよ。



カナダは移民の国だが、同じく移民の国であるお隣U.S.Aとは全く異なる。民族の同化政策・Melting potであるアメリカ、それに対しカナダは夫々のルーツや文化が混在するMosaic文化。カナダでは基本的に他人は他人、自分は自分、人が何をしようともあまり気にしない。人種、宗教、性、社会的地位、年齢に関わらず平等、対等な人間関係をというのが根本。「同性結婚、いわゆるゲイマリッジが今年正式に認められたけど、それが典型例だね。」友達のNate(前号参照)は言った。彼はトロント大学で日本と北米の比較文化歴史を研究している。彼曰く「カナダは平等が前提だからね。競争は結構シビアなんだよ」この意味がよくわからなかったが、ひとつの経験をした。

大学院のHuman developingという授業で、日本のagingをテーマに発表することになった。日頃から「なんで日本人は長生き?」「日本の女性は働いているの?」「ポケモンは何種類?」とか、様々な質問を同僚からされていたので、この際まとめて答えてやろうと

意気込んで、入念に準備した。20人くらい聞きに来てくれて(半分はカナダ人医師、半分は留学生医師)、ポケモンあり、統計データ満載、また僕のagingに関する論文ありのプレゼンで、爆笑も何回か取れて、「Great! Interesting!」などと拍手喝采だった。「なんだ、俺もやるじゃな～い」と思っていたら甘かった。授業の後は、プレゼンターに対し5段階評価表を全員がつける。テーマ、手法はどうだとか、かなり細かく分かれている。総合3.5点、空欄には「もっと英語を勉強せよ」「もっとアイコンタクトを」「はっきり主張を」などと書かれ、厳しい洗礼を受けた。オ～、これがコテコテ日本人に対する国際社会の評価!

ここでは、教授の授業であるろうが、研修医のプレゼンであろうが、「Any question?」の後にいっせいに手が挙がる。質問をどんどんして、ガンガン意見交換して、最後にフェアに評価する。カンファランスでも回診でも黙っている研修医はいない。なにかしらの意見を言う。それが日本とまったく異なる文化。

> 最悪だろうな～、(;´ `) 言いたい事はいろいろあるんですけどネ...

意見は言わないとね、思い切って! 研修医だからこそ言えることもたくさんあるんだよ。ときには爆発して、6月病を吹き飛ばせ!!

追伸:トロントは親日家の人たちが多いので住みやすい。タクシーも市内はちゃんとメーターが付いていますのでご安心を。トルコライスとは、スパゲッティと豚カツとドライカレーを盛り合わせた長崎名物、おいしいよ!